



かがやき

昭和53年4月1日創立 児童数301名 15学級 <http://www.sakasai-e.kashiwa.ed.jp/>

歌声があふれる学校

今年、コロナのために実施できなかった活動の多くを復活させています。その中でも「歌声発表会」は4年ぶりの開催となりました。昨年度までは全校児童を体育館に集めることが難しかったり、歌や楽器の練習も感染予防を講じながらとなると思うように取り組むことができなかったりしました。児童だけでなく半数以上の教職員も逆井小の歌声発表会が初めてでした。しかし各学年が新たな発想で歌や演奏を考え、練習に励んできました。10月から練習がスタートすると毎朝、朝の会で歌声が、そして音楽や学年の時間にも歌や楽器の演奏が校内のいたるところから聞こえてきました。まさに音楽に溢れた学校となりました。11月10日には全校児童が集まり、発表会が開催されました。まずトップバッターは5年生です。緊張していたと思いますが、それを感じさせない堂々とした発表でした。後に続く他学年の良い手本となりました。次は3年生。普段の素直さが歌声にも表れていました。また、今年度から練習を始めたリコーダー演奏もとても上手でした。続いて1年生です。色々な楽器を分担して演奏したり呼びかけをしたりとても息の合った発表でした。そしてなのはな学級です。まさに底力を感じる素晴らしい演奏でした。一人一人が一生懸命に楽器を練習し、また美しいソロの歌も披露してくれました。後半は2年生からのスタートです。個性豊かで元気な学年のカラーがぴったり合う歌詞でした。また、力強いドラムの演奏も印象的でした。4年生もいつも元気な学年ですが、別の一面を見ることができました。しっとりとした美しいハーモニーを披露してくれました。高学年に一步近づいたようです。そして6年生、最高学年にふさわしいそれぞれのパートが調和した完成された歌声でした。下級生たちもその歌声に魅了されてました。フィナーレは全校合唱奏です。喜びの歌を全校で歌と楽器で演奏しました。心に響く時間を全校で共有できたことが本当に幸せでした。



○キャリア教育に取り組んでいます

「キャリア教育」という言葉はかなり浸透してきています。学校では①社会に出た時に自立するために必要な職業人としての能力をつけること。②働くことの意義や職業観を学ぶことで、意欲的に仕事に取り組む姿勢を身に付け、自分の将来の進路を主体的に選択・決定できるようにすること、を目的としています。成長段階によって内容は異なりますが逆井小でも学年ごとに目的に沿った教育活動を行っています。2年生は「まち探検」を実施しました。学区にある様々な事業所をグループごとに訪れ、仕事内容を見学したり、疑問点を質問して知識を増やしてきました。訪問先はミニストップ、青木オート、逆井中、柏陵高校等多岐に渡りました。それぞれが得た知識を今後学年で共有していく予定です。一方6年生は出前授業として建設会社、大手通販会社、農業従事者と異なる分野の職業人の方達をお招きしてお話を伺う機会を設けました。業種は違っても共通して言えることは仕事に対してやりがいを持ち、かつ社会に貢献しようという思いを子ども達に伝えてくださいました。さらに先日近隣の南部中の生徒5名が職場体験学習として2日間逆井小で体験を行いました。最後に感想をたずねると全員が小学生と関わることがとても楽しく、すばらしい経験になったと話してくれました。将来の職業選択のヒントになってくれると良いと思いました。本校の目指す児童像は「社会や地域に貢献できる自立した人間」です。実現を目指し、キャリア教育を推進していきます。



○今年もエビネ祭で盛り上がりました！

11月18日(土)に恒例のエビネ祭が開催されました。子ども達が楽しんでいるイベントです。担当の保護者の方達が毎年、学団ごとに工夫を凝らした内容を準備してくださいます。今年もPTAの多賀会長の挨拶からスタートし、ビンゴ大会で各学級大いに盛り上がりました。その後は学団ごとに楽しいアトラクションに取り組みました。低学年はクレーン作り、中学年はスノードーム作り、高学年は身の回りの物の重さ当てクイズ等です。完成した作品をうれしそうに見せてくれる姿を見るとこちらも顔がほころびます。担当の皆様にご感謝申し上げます。



○名画のギャラリーです

今、逆井小の廊下は美術館のようです。各教室の廊下の壁に子ども達が描いた絵が掲示されています。1年生は「昆虫」、2年生「カメ」、3年生「お城」、4年生「龍」、5年生「逆井小の校庭」、6年生「思い出の風景」が題材でしたが一人一人の捉え方は千差万別です。全体の構成も異なれば、色使いもさまざまです。そしてお互いの作品を鑑賞することでまた感性が磨かれていくはずです。

